

長楽寺 平塚市礼場町 15-42

海詠山無動院と号し、真言宗開祖弘法大師空海が相模国を巡錫した際に最初に滞在したとされる当地に僧鎮海が文治元年（1185）頃に草庵を結び開創、海詠庵と称したといひます。その後、建保三年（1216）に僧朝秀が中興開山、江戸期には高野山真言宗寺院の関東における檀林として栄え十三ヶ寺の末寺を擁していました。本堂の須弥壇には、薬師瑠璃光如来を本尊とし、脇侍に日光、月光菩薩と、それを守護する薬師十二神将が奉安されています。（境内掲示より）



道路に面して塀続く



山門を入ると広い庭に本堂がある



階段を上がりお参り



楼門の新築工事を金剛組が請け負って工事中



湘南ひらつか七福神の寿老尊



光背型塔で刻像は同じく四臂青面金剛と二猿で、青面金剛の四臂の持物は右上手に剣、右下手に宝棒、左上手に三叉戟、左下手に索を持ち、頭には三股冠とともに怒髪様のものを刻む